



園高通信

# 府立 園部 高等学校 学校通信

普通科

京都国際科

## For the Future

Vol.8 2011.12.01

### 近畿高校ライフル射撃選抜大会 入賞者続出!

祝

全国高校ライフル射撃選抜大会出場決定



小上田侑奈さん

- BRS40JW (ビームライフル 40 少年女子)  
**第2位 小畑** (京都国際科・大成中)  
 第4位 上田 (中高一貫)  
 第8位 舛井 (中高一貫)  
 10mS40JW (エアライフル立射 40 発少年女子)  
**第3位 上田** (中高一貫)  
 第5位 菅井 (中高一貫)  
 BP40JMW (ビームピストル 40 発少年混合男女)  
 第8位 筒井 (普Ⅱ類・美山中)  
 10mS60JM (エアライフル立射 60 発少年男子)  
 第7位 筒井 (普Ⅱ類・美山中)

### ~ 京都府スピーチコンテスト ~



府予選第2位・谷口菜優さん  
**近畿大会出場決定**



校内予選会風景 ↑  
 …本校では英語教育に力を注いでおり、校内予選でも熱戦が繰り広げられます。本校からは、谷口さん、笹江さんの2名が府北部予選会を突破し、府予選会に出場しました。府予選会で第2位入賞の谷口さんが近畿大会出場権を獲得しました。



### ~ 留学生との交流 ~



米国留学生とともに学びました。



### ~ 「EGG DROP 甲子園」 初代優勝校に ~



11月6日(日)に立命館大学で開催されたエッグドロップ甲子園において、チーム園部高校が優勝しました。  
 エッグドロップ甲子園は今年初めて開催されたイベントで、高さ10mのところから画用紙のみで作成したプロテクターをタマゴに装着し、タマゴを割らないように落下させるという競技です。関西の高校生51チーム(約180名)が参加しました。

日本文化講座を通して留学生との交流を図っています。



中国訪日団との交流



6月に日本の訪中団の一員として本校からも中国を訪問しました。今回11/14・15には、本校でも中国訪日団を迎え、充実した交流ができました。

### ~ 小学校・高校連携事業 ~



外国語活動パートナーズスクール



「高校生先生による」外国語活動。  
 本校・京都国際科の生徒が教師役になって南丹市内の小中学生に英語を教える活動です。三年目となるこの活動は回ごとに充実し、今回も、授業を通して、小学生・高校生ともにコミュニケーション力を高めました。

### ~ 球技大会 ~



バレーボール、スーパードッジ、卓球、ソフトボール、バドミントン … 熱戦が繰り広げられ、大盛り上がり!!

～ ボランティア活動～



京都国際科がここでも活躍！！

京都国際科の生徒が「小学生親子英会話(土曜開放講座)」で2名のAETとともに、アシスタントをしています。

～進路希望実現に向けて～



「職業人に聴く」(校内)

「大学」プログラムと京都府の「高大連携事業」に参加(校外)

…各分野の内容を、プロから聴いて学びます。



「就職・進学激励会」(校内)

「SPP 高大連携」(京学大)

～幼稚園実習～



「児童心理」(選択科目)

「家庭基礎」(選択科目)

…確かな学力を培うために…

- 進路HRやさまざまな取組を通して自己の生き方について考え、学習モチベーションを高めます。
- 早朝・放課後・土曜日の補習を実施しています。
- 就職・公務員対策学習会を実施しています。
- 普通科SAは 週 34 時間授業(含.必修補習)。
- 普通科SBは 週 33 時間授業。

～よりよい指導を目指して！～

京都府「PISA型学力育成モデル校」指定  
「ことばの力」育成プロジェクト  
研究実践報告会



本校は 2006 年度から 2008 年度まで文科省から「スーパーグローバルイノベーションスクール」の指定を受け、「英語の力をどのようにして育てるのか」についての実践研究をしてきました。その中で本校独自の授業法や教材を開発してきました。2009 年度から 2011 年度までの3年間は京都府教育委員会から「PISA 型学力育成モデル校」の指定を受け、さらに英語力を向上させることについて、「目標設定と評価」の側面から実践研究を継続してきました。

「Ⅰ・Ⅱ類、京都国際科、中高一貫という四つのコース全てで、英語力の向上が見られるのは、英語科全教員が、教科内容についての本質的問いを共有し、生徒にどのような英語の力を育てるのかについての共通認識がなされているからです。」(研究アドバイザー・京都大学 西岡加名恵 准教授)

6年間の成果を踏まえ、今後もよりよい英語教育を目指します。



京都大学大学院教育学研究科

田中 耕治 教授

西岡 加名恵 准教授

記念講演をしていただきました。

西欧だけでなく、アジア諸国でも、課題解決型の学力の向上がなされる中、今後の日本の英語教育のあり方が問われている。「親しみやすさと高度な学力の質を要求するパフォーマンス課題と評価」の研究が、高校で行われているということが素晴らしい、と褒めていただきました。

研究実践報告や協議の講評・指導助言をしていただきました。

楽しさ・親しみを持ちながら英語力を向上させる「パフォーマンス課題と評価」による指導法では、日本のトップレベルにある、とお褒めの言葉をいただきました。



高校 10 講座、附属中 2 講座、のべ 15 名の教員の研究授業が公開されました。